

令和6年 大分県警察業務重点等の推進結果

大分県警察運営方針：県民とともに歩む力強い警察～「日本一安全な大分」の実現に向けて～

業務目標達成状況

1. 刑法犯認知件数過去最少 ⇒ 未達成（認知件数3,442件 前年比+449件 ※犯罪率全国第4位(良好な方から)）
2. 特殊詐欺被害件数過去最少 ⇒ 未達成（被害件数280件 前年比+74件）
※被害額 約7億3,684万円 前年比+約4億2,593万円
3. 交通事故死者数過去最少 ⇒ 達成（死者数28人 前年比-4人）※統計を取り始めた昭和27年以降で過去最少
4. 重要犯罪の徹底検挙 ⇒ 達成（検挙率98.4%）

業務重点推進状況

1 総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進

犯罪情勢					
	★ 過去最少：R4年（2,794件）				
刑法犯	R2	R3	R4	R5	R6
刑法犯認知件数（件）	3,087	2,887	2,794	2,993	3,442
犯罪率（件）	272.0	256.6	250.8	270.4	314.1

※犯罪率…人口10万人当たりの刑法犯認知件数（良好な方から全国第4位）



- ・地域の犯罪情勢等を分析した上、地域実態に即した先制的な犯罪防止対策を推進
- ・自主防犯活動の活性化に向けた各種支援活動を推進
- ・街頭防犯カメラ設置支援など防犯環境の整備促進による安全・安心なまちづくりを推進
- ・各種機会、広報媒体を通じ、犯罪実行者募集、いわゆる闇バイト対策を推進

特殊詐欺の被害状況					
	★ 過去最少：R2年（112件）				
特殊詐欺被害	R2	R3	R4	R5	R6
被害件数（件）	112	150	177	206	280
被害額（百万円）	293	81	219	310	736



SNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況		
	R5	R6
SNS型投資・ロマンス詐欺被害		
被害件数（件）	176	279
被害額（百万円）	1,011	1,612



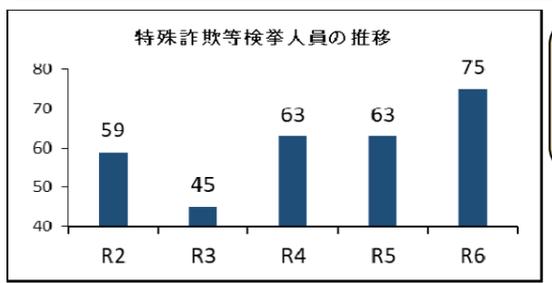
- ・被害件数、被害額ともに増加
- ・オレオレ詐欺、副業を名目とした詐欺などが増加
- ・65歳以上の高齢者のみならず、幅広い世代で被害が発生
- ・金融機関等と連携した取組による水際阻止対策の推進
- ・若者を犯罪に加担させないための対策を推進（メッセージコンテスト）

4 悪質・重要犯罪等の徹底検挙

罪種	R5			R6		
	認知	検挙	検挙率	認知	検挙	検挙率
殺人	7	6	85.7%	5	5	100.0%
強盗	3	3	100.0%	3	3	100.0%
放火	5	5	100.0%	6	7	116.7%
不同意性交等	16	14	87.5%	23	19	82.6%
略取誘拐	3	2	66.7%	5	4	80.0%
不同意わいせつ	31	26	83.9%	22	25	113.6%
計	65	56	86.2%	64	63	98.4%

- ・重要犯罪（殺人・強盗・不同意性交等・放火・略取誘拐・不同意わいせつ）の認知件数は64件で、昨年比-1件
- ・重要犯罪の検挙件数は63件で、昨年比+7件

振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の徹底検挙



- ・犯行場所等における防犯カメラ捜査、その他徹底した突き上げ捜査等を行った結果、実行犯及び助長犯を75人検挙（昨年比+12人）

2 子供・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進

ストーカー・DV事案、子供・女性に対する声掛け事案等への迅速・的確・総合的な対応					
	R2	R3	R4	R5	R6
ストーカー事案	399	369	340	382	361
D V 事案	844	696	604	693	691
声掛け事案	344	369	302	286	292

- ・ストーカー・DV行為者に対する迅速な警告や検挙措置等により重大事案を未然防止
- ・女性相談支援センター等と連携した被害者等の保護対策を推進
- ・教育委員会や学校、PTA、地域住民等と連携した「登下校防犯プラン」を推進

少年非行防止・保護対策

	R2	R3	R4	R5	R6
少年非行					
刑法犯少年	117	89	66	109	145
不良行為少年	316	360	495	566	634
児童虐待					
対応件数	577	554	630	717	739
通告人員	675	727	898	1,016	1,058

- ・刑法犯少年、不良行為少年はいずれも増加
- ・スクールサポーターの活動等を通じ、学校等と連携して非行の深刻化を防止
- ・児童虐待対応件数、児童相談所への通告人員はいずれも増加
- ・児童相談所や市町村等と連携した被害児童の早期発見、安全確保を最優先とした取組を推進し、重大事案への発展を防止

3 交通死亡・重傷事故の抑止

交通事故情勢					
	発生日数	死者数	負傷者数	重傷	
				重傷	軽傷
R6	2,125件	28人	2,619人	212人	2,407人
R5	2,233件	32人	2,767人	268人	2,499人
増減数	-108件	-4人	-148人	-56人	-92人
増減率	-4.8%	-12.5%	-5.3%	-20.9%	-3.7%

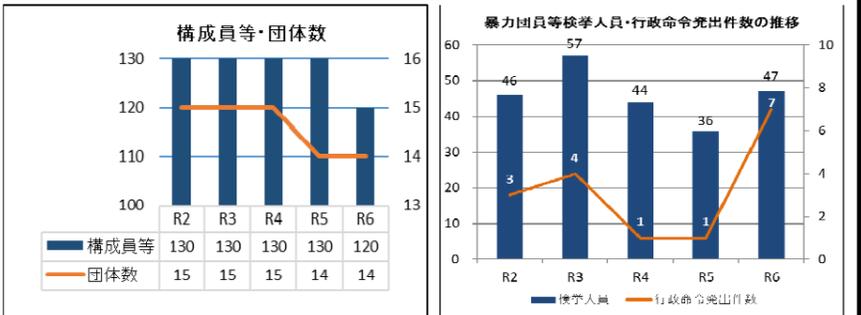
- ★発生日数及び負傷者数は20年連続で減少、令和5年に増加に転じていた重傷者数も減少
- ★歩行者が関係する死亡事故が半減（令和5年：11件 ⇒ 令和6年：5件）
- ★交通事故死者に占める高齢者の割合が増加（令和5年：約59% ⇒ 令和6年：約68%）

- ・交通事故多発交差点（ワースト交差点）における街頭活動や秋冬の薄暮時間帯における街頭活動（照TIME-17）など効果的な交通事故抑止対策を推進
- ・交通事故分析結果に基づく交通指導取締り、悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に重点を置いた交通指導取締りの推進
- ・法改正に伴う自転車の交通ルール周知と指導取締りの推進



5 暴力団等組織犯罪対策の推進

県民と連携した暴力団排除活動の推進及び暴力団員等の取締り



薬物事犯の取締り強化

	R2	R3	R4	R5	R6
覚醒剤	73	57	38	29	50
大麻	36	38	64	64	33
全薬物	109	96	106	102	89

- ・暴力団構成員等は減少傾向
- ・3年ぶりに覚醒剤事犯の検挙人員が大麻事犯の検挙人員を上回る

6 災害、テロ等緊急事態対策及び大規模警備諸対策の推進

大規模災害対策等の推進



大規模警備諸対策の推進



7 県民本位の活力ある警察組織の構築

業務の合理化・効率化の推進

- ・公金収納のキャッシュレス決済、放置違反金のコンビニ納付導入による県民の利便性向上
- ・音声ガイダンス等導入による県民サービスの向上と職員の負担軽減

時間外勤務縮減、休暇取得の推進

◇時間外勤務状況	
	時間外勤務時間数（1人あたり月平均）
R6	25.1 H
R5	24.6 H
前年比	0.5 H

◇休暇取得状況	
	年次休暇取得日数（1人あたり）
R6	13.8 日
R5	14.8 日
前年比	-1 日